

3月5日のウクライナ情報

安斎育郎

①トランプとゼレンスキーの衝突が ロンドン緊急防衛サミットに飛び火 した、ヨーロッパ諸国は崩壊の道歩んでいるのか？(2025 年 3 月 3 日)

ドナルド・トランプ米大統領とウクライナのヴォロディミル・ゼレンスキー大統領がホワイトハウスで劇的な対決を繰り広げたことで、西側諸国の対立は沸点に達している。

米国の援助に不透明感が漂う中、欧州の指導者たちは和平交渉の成立とウクライナの国防強化に奔走している。

英国のキーア・スターマー首相が主催するロンドンでのサミットは、世界の指導者たちがウクライナの支援に結集する中で、前進への道筋を描くことを目的としている。

<https://youtu.be/GAlHShOpKzc>



<https://www.youtube.com/watch?v=GAlHShOpKzc>

②トランプ・ゼレンスキーの余波:全体像(2025 年 3 月 3 日)

いつものように、私はワシントンでの劇的な出来事のさまざまな解釈を比較します。それは罨だったのか？それは友人の裏切りであり、敵の抱擁だったのか？それはより大きな戦略の一部だったのか？ゼレンスキーは何を望んでいるのか？それは達成可能なのか？それはどこへ向かっているのか？これらはここで検討されている質問の一部です。

ブロフキン博士は、現在は引退したロシア系アメリカ人の歴史家で、ハーバード大学のソビエト史の元教授であり、ロシアの歴史に関する数冊の本と多数の記事の著者であり、編集者、コンサルタント、教師です。彼の最新の本:ウラジミール・レーニンからウラジミール・プーチンまで。そのアイデンティティを求めるロシア(Routledge London 2023)は、Routledge.com、Amazon、Barnes and Noble、その他のプラットフォームで入手できます。 ※安斎注:必見でしょうね。

https://youtu.be/R8z_5RT-0g



それでも、
彼らは戦いを続けるという自殺行為を好むようです。これが

https://www.youtube.com/watch?v=R8z_5RT-0g

③これからのウクライナ支援国の戦略(2025年3月3日)

※投稿者コメント: 欧州諸国とカナダはトランプ大統領の和平計画を粉碎し、ゼレンスキー大統領を支持し、いかなる和平協定も不可能にすることを決定した。

彼らは次のように発表した。

- 1) ロシアに対するさらなる(ウクライナの)軍事攻撃支援と対口制裁
 - 2) 主権とは、ウクライナがすべての領土を取り戻し、交渉に参加しなければならないことを意味する。
 - 3) 和平協定後、ウクライナは武装する
 - 4) 英国は他の国々と連携して、ウクライナでの合意後に地上部隊を派遣する軍事連携を結成する!!
- ロシアはいかなる合意も受け入れることができず、米国は離脱せざるを得なくなり、ウクライナは最後まで戦うことになるだろう。

彼らは正気じゃないですね！

彼らは、ウクライナですでに埋没コストが発生しているため、米国が撤退しないだろうと賭けたのだろうか？

<https://x.com/i/status/1896336323163902109>



<https://x.com/amatsuda7/status/1896336323163902109?s=09>

〈関連情報〉欧州首脳の集まり(2025 年 3 月3日)

英国は、大統領執務室でドナルド・トランプ大統領と意外なやり取りをした後、ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領を支持する欧州首脳会議を主催し、かつては団結していた同盟国の立場について多くの疑問を残しました。英国のキール・スターマー首相は、ロンドンのバッキンガム宮殿の近くにある 200 年の歴史を持つ宮殿、ランカスター・ハウスで会議を主催した。

ドイツ、デンマーク、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、スペイン、カナダ、フィンランド、スウェーデン、チェコ共和国、ルーマニアの首脳のほか、トルコの外務大臣、NATO 事務総長、欧州委員会および欧州理事会の議長が参加しました。

スターマーは、イギリス、フランス、ウクライナが、アメリカ合州国に提示される停戦計画に取り組むことに合意したと発表した。彼は指導者たちに、彼らが一歩踏み出し、キエフを支援し続け、ヨーロッパの安全保障にとって「ユニークな瞬間」を実現しなければならないと述べました。

<https://x.com/i/status/1896270942738759774>



<https://video.corriere.it/esteri/meloni-vede-zelensky-a-londra-ribadito-il-sostegno-dell-italia-e-l-impegno-per-una-pace-giusta/4c37630c-24f8-4430-b3ee-9f72c11f6x1k>

〈関連情報〉「侵略者はロシア」合唱隊(2025 年 3 月 3 日)

<https://youtu.be/3O8z45N7C2g>



米ホワイトハウスで 2 月 28 日に行われたゼレンスキー・トランプ会談は、予想通りの決裂に終わっ

た。トランプ大統領は「ウクライナは感謝しろ」と声を荒らげ、バンス副大統領までもがゼレンスキー氏の「ありがとう」が足りないと言及する異様な光景が繰り広げられた。ゼレンスキー氏は会談冒頭で感謝の意を示したというが、ワシントンの面々はそれでは満足しなかったようだ。

ヨーロッパが一斉に「侵略者はロシア！」と声を上げ、政治ショーが展開される中、トランプとゼレンスキーの激しい対立が続く。

その裏側で進行している外交戦争と、ウクライナ戦争の影響を深掘り！

<https://www.youtube.com/watch?v=3O8z45N7C2g>

④わずか 6 年前のゼレンスキー(2025 年 3 月 3 日)



<https://x.com/i/status/1895835385491808338>

2019 年の会合でプーチン大統領はミンスク合意について言及した。

ウクライナ東部の紛争での度重なる停戦違反を指摘し、ドンバスの住民の安全を訴えかけた。

その隣でゼレンスキーは笑っていた。

<https://x.com/LoVeG ReeN/status/1895835385491808338?s=09>

※安斎注:ご存じの通り、2014 年にアメリカがウクライナのヤヌコヴィチ政権をユーロ・マイダン・クーデターで倒して親米傀儡のポロシェンコ政権を作り、この「ウクライナ語を話すウクライナ人」の政権が、極右民族主義者集団アゾフを国軍に組み入れて、「ロシア語を話すウクライナ人」に民族浄化まがいの反人権的軍事弾圧を始めました。テレビ番組「国民の僕(しもべ)」で人気を得たコメディアンでゼレンスキーはそれを受け継ぎ、ついには、独立を宣言したドンバス地方のルハンスク、ドネツク両国からの要請を受けたロシアと戦争状態に入りました。

⑤プーチン大統領、ゼレンスキー大統領の屈辱に満足…「どの軍事作戦より大きな勝利」(2025年 3 月 3 日)

米国のトランプ大統領とウクライナのゼレンスキー大統領の首脳会談が破局で終わったことをロシアが満足する姿だ。

ロシアのプーチン大統領は公開的な立場表明を自制しているが、周囲が一斉にゼレンスキー大統領を非難し、ウクライナに圧力を加えている。

1日(現地時間)の英日刊ガーディアンによると、プーチン大統領の側近、メドベージェフ安全保障会議副議長はこの日、SNSでゼレンスキー大統領を「ピエロ」と呼び、トランプ大統領とのホワイトハウスでの首脳会談を「容赦のない叱責」と規定した。

メドベージェフ副議長は「トランプ大統領がピエロの面前で『第3次世界大戦をもてあそんでいる』

と真実を語った」とし「これでは十分でない。(ウクライナに対する)軍事支援を中断するべきだ」と主張した。

ロシア外務省のザハロフ報道官はゼレンスキー大統領を「ゴミ」と表現した。

ザハロフ報道官はテレグラムで「トランプ大統領とバンス副大統領がそのゴミのような人間を殴らなかったのは奇跡的な忍耐力」とコメントした。

ロシア国防省と緊密な関係があるブロガーのライバー(Rybar)は「全体的に今回の会談は、恩を仇で返し、傲慢で厚かましく分別をわきまえないゼレンスキーの素顔を表した」と主張した。

プーチン大統領はまだいかなる言及もしていないが、非常に満足しているというのが周囲の伝言だ。

ロシア大統領府の意中をよく知る情報筋はガーディアンに「プーチン大統領が今回の事態を楽しんだのは明白」とし「もう彼はウクライナに対してより多くの要求ができると考えている」と話した。続いて「プーチン大統領にとって今回の会談は戦争開始以降いかなる軍事作戦よりも大きな勝利」と伝えた。

※安齋注:みんな結構口が悪いね。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/acda35fcd1dad33eae5e4e7b12ea3c82e71d3c28/images/000>

⑥「ゼレンスキー大統領が戦争を終わらせるという目標を共有しているかはっきりせず、我々は驚愕した」会談に同席のトランプ政権幹部が改めてゼレンスキー氏の責任指摘(2025年3月3日)

トランプ大統領とゼレンスキー大統領の会談が決裂したことについて、会談に同席したトランプ政権の幹部が改めてゼレンスキー氏の責任を指摘しました。

ウォルツ大統領補佐官は2日、CNNテレビのインタビューで「ゼレンスキー大統領が戦争を終わらせるという目標を共有しているかはっきりせず、我々は驚愕した」と話しました。

また、同じく会談に同席したルビオ国務長官とともに、鉱物資源をめぐる協定を「前に進めてはならない」と意見したことを明らかにしました。

ルビオ長官も ABC テレビに出演し、「彼らは『和平を実現するために安全の保証が必要だ』と言うが、まずは和平を実現しなくてはならない」と強調。「ロシアを交渉に応じさせることが重要なのにゼレンスキー氏はそれを妨げた」と非難しました。

アメリカ ルビオ国務長官

「我々は戦争を終わらせようとしている。双方が交渉のテーブルに着かなければ、それは不可能だ。トランプ大統領が言っているのは、そのことだ」

また、共和党のジョンソン下院議長はゼレンスキー氏が謝罪し、協定を受け入れなければ「誰か別の人が国を率いる必要がある」とも話し、党内の一部から出ている辞任の必要性を指摘する声に理解を示しています。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/69e7d5848ef08e83e07389427f30de35b08e8e26/images/000>

⑦「和平交渉か辞任か」米政権、ウクライナへの圧力発言相次ぐ(2025年3月3日)

トランプ米政権側からウクライナのゼレンスキー大統領に対し、ロシアとの停戦に向けて取り組まない場合は辞任するよう求める発言が相次いでいる。トランプ大統領とゼレンスキー氏は2月28日の会談で決裂したが、米政権が早期の停戦を目指す姿勢は変わっておらず、ウクライナ側に圧力をかけている。

「ゼレンスキー氏が感謝の気持ちを持って交渉のテーブルに戻るか、さもなければ他の誰かが国を率いる必要がある」。米共和党のジョンソン下院議長は今日2日のNBCテレビで、こう主張した。またトランプ氏の和平に向けた取り組みを強調し、「ゼレンスキー氏の会談での行いは、実質的に(交渉の)準備ができていないとのシグナルを送った。非常に失望している」とも述べた。

ウォルツ大統領補佐官(国家安全保障問題担当)もCNNで「我々と対話し、最終的にはロシアとも交渉して戦争を終結させられる指導者が必要だ」と語った。

親ウクライナで共和党重鎮のグラム上院議員も決裂した会談後、「ゼレンスキー氏が辞任して、我々がビジネスをできる別の誰かを送り込むか、あるいは彼が変わる必要がある」と指摘。トランプ氏も会談後に自身の SNS(ネット交流サービス)に「和平の準備ができれば戻ってほしい」と投稿した。【ワシントン松井聡】



米共和党のジョンソン連邦下院議長＝ワシントンで2025年2月11日、AP（毎日新聞）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/55f9bcd6a2bba026aafa389a4182206f6df9913a/images/000>

⑧仏英、1 か月間のウクライナ部分停戦を提案へ マクロン氏(AFPBB News、2025年 3 月 3 日)

AFP＝時事】フランスのエマニュエル・マクロン大統領は 2 日、英ロンドンで開かれたウクライナ支援をめぐる欧州各国の首脳会合後、仏英両国がウクライナの「空・海・エネルギーインフラ」における 1 か月間の停戦を提案する意向であることを明らかにした。

マクロン氏は仏フィガロ紙のインタビューで、前線の規模を考えると、停戦の順守状況を把握するのは極めて困難だとし、停戦案は少なくとも初期段階では地上戦を対象としていないと述べた。

平和維持部隊については、「今後数週のうちに欧州の部隊がウクライナに派遣されることはない」とした。

マクロン氏はまた、米国の優先事項の変化とロシアの軍事力に対応するため、欧州諸国は国防費を国内総生産(GDP)の 3.0～3.5%に引き上げるべきだと提案。「ロシアは 3 年間で GDP の 10% を防衛に費やした」「われわれは次の事態に備えなければならない」と語った。

マクロン氏はイタリアのイルフォグリオ紙との別のインタビューでは、欧州はウクライナ紛争を終結させるために「強い」イタリアを必要としていると述べた。

一方、イタリアのジョルジャ・メローニ首相は 2 日の首脳会合で、ウクライナへの平和維持部隊派遣

にイタリアが貢献する可能性を否定。「それは議題に上がったことがない」と語った。【翻訳編集】



英ロンドン中心部のランカスターハウスで会談する（左から）ウクライナのヴォロディミル・ゼレンスキー大統領、英国のキア・スターマー首相、フランスのエマニュエル・マクロン大統領（2025年3月2日撮影）。【翻訳編集】 AFPBB News（AFP=時事）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3b03445c5bf114c7f174197fdb1c0c7cf04d1460/images/000>

⑨ダグラス・マクレガー大佐「トランプは対露戦争の愚かさから米国を解放した」 (2025年3月2日)

<https://youtu.be/mlHNUj85KDk>



はだからこの戦争はロシアが自分たちの
成果に満足し満足した時に終わると思い

ダグ・マクレガー大佐は、トランプ大統領が戦争を終結させ、ロシアとの関係を正常化させたいと望んでいることは評価に値すると強調し、分析を行う。

しかし、解決はロシアの条件と目的に大きく左右されるため、厳格なタイムラインを設定することには注意を促している。

マクレガー氏は、ロシアが戦略的イニシアチブを握っており、必要であればさらにエスカレートさせる能力を持ちながら、独自のペースで動いていることを強調する。

彼は、ロシアが和平に合意する前に、キエフやオデッサを含むウクライナの重要な領土の支配権を確保することを目指している可能性を示唆している。

この議論では、欧州の新たな安全保障枠組み案を含む、ロシアの広範な地政学的戦略についても触れられている。

交渉におけるトランプの役割については議論があり、ロシアが領土の全面的な譲歩を要求した場合、トランプがどのように交渉を進めるかが懸念されている。

マクレガー氏は、バイデン政権の政策により、現在の米国には影響力が欠けており、トランプ氏のアプローチは強者の立場というより、現実的な転換を意味すると主張する。

このプレゼンテーションは、戦争の軌跡については不透明であるが、外交的な努力は行われていることを認めている、と締めくくっている。

<https://www.youtube.com/watch?v=mlHNUj85KDk>

⑩EU、「再軍備」125 兆円 ロシアの脅威に対抗 欧州委員長(2025年3月4日)

【パリ時事】欧州連合(EU)のフォンデアライエン欧州委員長は 4 日、ウクライナへの侵攻を続けるロシアの脅威に対抗するため、8000 億ユーロ(約 125 兆円)規模の「再軍備計画」を表明した。

トランプ米政権は欧州の安全保障への関与に消極的な姿勢を示しており、EU は 6 日、ベルギー・ブリュッセルで特別首脳会議を開いて計画の詳細を議論する。

フォンデアライエン氏は記者発表で、複数の EU 加盟国による防空システム、ミサイル、ドローンなどの共同調達を促す融資制度の新設を首脳らに書簡で提案したと説明。EU 加盟国に課された財政規律の緩和や EU 予算の活用を含め、再軍備計画が実行されれば「安全で強靱(きょうじん)な欧州のため、8000 億ユーロ近くの防衛費を捻出できる」と訴えた。



4日、ブリュッセルで記者会見する欧州連合（EU）のフォンデアライエン欧州委員長（AFP時事）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/88eaff39b56baae4b05a1f3a883f27bbce17f26e/images/000>